

第8節 自然保護

本市は、県立自然公園に指定されている川内川流域、藺牟田池及び甌島等、豊かな自然環境に恵まれています。川内川流域には多くの生物が生息し、特に高江町にはカラフトワシが飛来するなど多くの野鳥が見られ、寄田、唐浜、手打、長浜などの海岸にはウミガメが上陸します。また、甌島の貝池には古生代から生き残っている世界的にも珍しいクロマチウムというバクテリアが生息しています。

1 自然公園

本市には、県立自然公園が3箇所あり、それぞれ県が保護・管理を行っています。なお、公園内では一定の行為を行う場合は届出・許可が必要となっています。

図表 3-32 県立自然公園

	指定年月日	特 別 地 域				普通地域	合 計
		第1種	第2種	第3種	計		
藺牟田池 県立自然公園	S28.3.31	0.0	187.5 (153.0)	0.0	187.5 (153.0)	3,750.2 (2,987.2)	3,937.7 (3,140.2)
川内川流域 県立自然公園	S39.4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6,571.0 (1,398.4)	6,571.0 (1,398.4)
甌島 県立自然公園	S56.10.1	195.0 (195.0)	861.3 (861.3)	758.7 (758.7)	1,815.0 (1,815.0)	643.8 (643.8)	2,458.8 (2,458.8)
合 計		195.0 (195.0)	1,048.8 (1,014.3)	758.7 (758.7)	2,002.5 (1,968.0)	10,965.0 (5,029.4)	12,967.5 (6,997.4)

※（ ）書きは、薩摩川内市域面積を再掲。

2 藺牟田池

藺牟田池は国内希少野生動植物種に指定され、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類に指定されているベッコウトンボが安定的に生息する地として平成8年にベッコウトンボ生息地保護区に指定されました。

また、世界的に重要な湿地として、平成17年11月にラムサール条約の登録湿地になりました。

そこで、このような貴重な生態系を保全するため、藺牟田池においてブラックバス、ブルーギル等の外来魚の再放流を禁止する条例を平成18年7月1日に施行しました。

図表 3-33 平成24年度外来魚回収ボックスの回収実績（単位：匹）

月	ブラックバス	ブルーギル	その他	合 計
4月	3	14	1	18
5月	13	110	1	124
6月	7	27	1	35
7月	27	348	2	377
8月	43	4,687	2	4,732
9月	2	2,960	0	2,962
10月	3	3,376	0	3,379
11月	0	20	0	20
12月	0	0	0	0
1月	1	0	0	1
2月	0	0	0	0
3月	3	0	1	4
合 計	102	11,542	8	11,652

3 鳥獣保護

鳥獣の保護増殖を図るため本市では、鳥獣保護区が 10 箇所設定されています。

図表 3-34 鳥獣保護区

保護区	面積 (ha)	設定年	存続期間
新田神社	30	1964 (昭和 39)	平成 16 年 11 月 1 日～平成 26 年 10 月 31 日
中郷池周辺	117	1973 (昭和 48)	平成 15 年 11 月 1 日～平成 25 年 10 月 31 日
藤川天神	400	1974 (昭和 49)	平成 16 年 11 月 1 日～平成 26 年 10 月 31 日
清浦ダム	12	1974 (昭和 49)	平成 16 年 11 月 1 日～平成 26 年 10 月 31 日
丸山公園	55	1978 (昭和 53)	平成 20 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日
八重高原	485	1984 (昭和 59)	平成 16 年 11 月 1 日～平成 26 年 10 月 31 日
寺山	420	1987 (昭和 62)	平成 19 年 11 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日
滝の山	95	1989 (平成 元)	平成 21 年 11 月 1 日～平成 31 年 10 月 31 日
鹿島	390	1989 (平成 元)	平成 21 年 11 月 1 日～平成 31 年 10 月 31 日
鹿島南	478	1994 (平成 6)	平成 16 年 11 月 1 日～平成 26 年 10 月 31 日

4 ウミガメ保護

鹿児島県では貴重な野生生物であるウミガメの保護を図るため、昭和 63 年に「鹿児島県ウミガメ保護条例」を制定し、保護対策を講じています。本市でも、監視員による保護をはじめとして啓発活動に取り組んでいます。

図表 3-35 ウミガメの上陸確認頭数

	薩摩川内市					鹿児島県
	川内地域	里地域	上甌地域	下甌地域	市全体	
平成 24 年度	63	0	0	16	79	8,845
平成 23 年度	67	0	0	12	79	5,423
平成 22 年度	90	0	0	16	106	7,824
平成 21 年度	42	0	0	24	66	5,243
平成 20 年度	118	0	0	30	148	9,443
平成 19 年度	13	0	0	26	39	3,437
平成 18 年度	26	0	0	0	26	3,552
平成 17 年度	18	0	1	38	57	5,711

第9節 環境衛生

1 衛生害虫駆除

近年、居住環境の整備や衛生意識の向上により、衛生害虫による疾病の媒介は減少しています。

しかし、一方では住宅構造や住民意識の変化により、屋内塵性ダニによるアレルギー性疾患、刺咬症など各種の不快害虫の発生など新たな問題も生じています。

本市では、薬剤散布を行う自治会等に煙霧機の無料貸出しや薬剤散布の指導を行っています。また、薬剤については、薩摩川内市衛生自治団体連合会で油剤を斡旋し、環境衛生思想の普及を図っています。

〔➡資料 9-1〕

2 墓地

本市が管理している墓地は、川内芸ノ尾第1墓地等8箇所あり、安全対策等の環境整備を図っています。平成18年9月からは、指定管理者が施設の管理を代行しています。

また、共同墓地（集落共有墓地）については、特別災害復旧補助制度を設け、自然災害による墓地復旧工事及び墓地移転に対し補助金を交付しています。〔➡資料 9-2～9-3〕

図表 3-36 市営墓地の概要

墓地名	区 画	指 定 管 理 者
川内芸ノ尾第1墓地	325 区画	株式会社 誠建設 ※平成28年3月31日まで
川内芸ノ尾第2墓地	201 区画	
入来向山墓地	90 区画	
里 藺 上 墓 地	249 区画	水建システム有限会社 ※平成28年3月31日まで
里 藺 下 墓 地	179 区画	
里 観 農 墓 地	271 区画	
里 寺 山 墓 地	51 区画	
鹿島小牟田墓地	84 区画	鹿島地区7区自治会

3 葬斎場

本市内には、4箇所の葬斎場があり、計画的に施設の適切な維持管理を行っています。

また、平成18年9月から指定管理者が施設の管理を代行しています。（H28.3.31 まで）〔➡資料 9-4〕

図表 3-37 薩摩川内市内の葬斎場の概要

名 称	川内葬斎場やすらぎ苑	上甕島葬斎場	下甕葬斎場	鹿島葬斎場
所 在 地	国分寺町 6669 番地 30	里町里 2477 番地	下甕町青瀬 278 番地	鹿島町藺牟田 3322 番地
供用開始	昭和 60 年 4 月	昭和 58 年 4 月	昭和 53 年 4 月	平成 2 年 4 月
敷地面積	15,220.13 m ²	2,176 m ²	1,410.58 m ²	578.58 m ²
建築面積	1,356.43 m ²	218 m ²	105.65 m ²	287.4 m ²
炉 設 備	火葬炉 6 基(うち 1 基汚物炉)	火葬炉 2 基	火葬炉 1 基	火葬炉 1 基
事 業 費	608,816 千円	90,034 千円	28,572 千円	67,877 千円
指定管理者	株式会社 誠建設	里葬祭	西葬儀社	鹿島地区コミュニティ協議会

4 狂犬病予防対策

本市では、狂犬病予防法第5条に基づき、毎年、薩摩地区獣医師会との連携のもとで、狂犬病予防のために集合注射を実施しています。

平成24年度における本市の狂犬病予防注射接種率は、71.3%（接種頭数 4,308／登録頭数 6,045）であり、平成23年度と比較して、0.6%低下しています。

近年は全国的に接種率が低下傾向にあり、本市では、接種率向上のためにホームページや広報紙等により普及啓発を行っています。〔➡資料 9-5〕

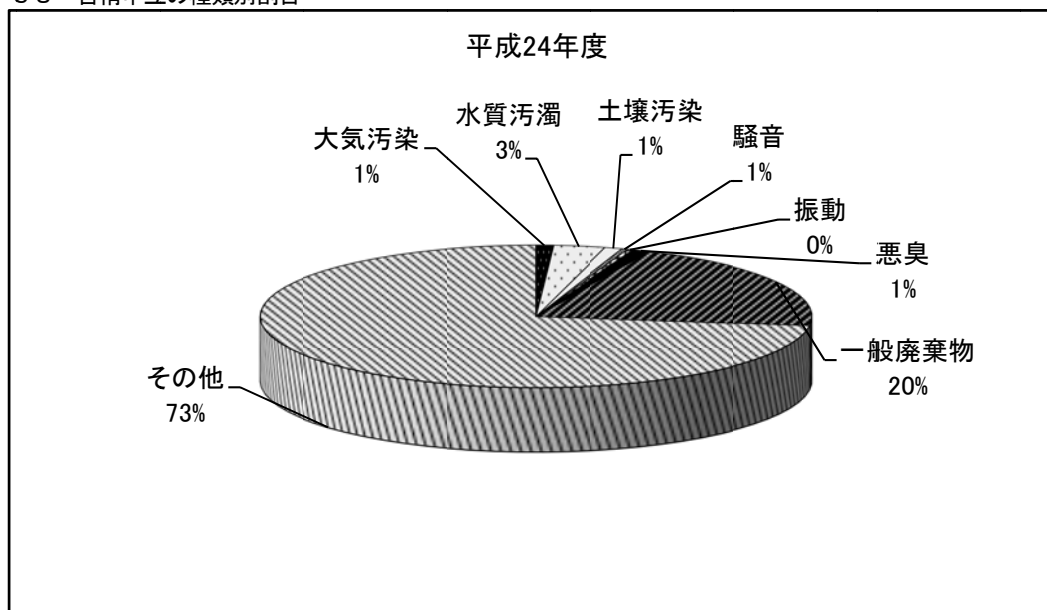
第10節 苦情処理

平成24年度は、合計で295件の苦情が寄せられています。

〔資料10-1〕

- ➡ 一般廃棄物に係る苦情は、不法投棄がほとんどです。
- ➡ 大気に係る苦情は、野焼きなどの焼却行為によるものがほとんどです。
- ➡ 騒音に係る苦情は、工場、建設作業から発生するものや近隣騒音があります。
- ➡ 悪臭の苦情は、田畑への堆肥散布、畜産施設によるものなどが主なものとなっていますが、側溝によるものもあります。
- ➡ 水質の苦情は、規制を伴わないもの（未規制事業所等）が主なものとなっています。
- ➡ その他の苦情は主に雑草繁茂など空地管理の問題がほとんどです。

図表 3-38 苦情申立の種類別割合



図表 3-39 苦情申立の発生源別割合

